

事業者向け 放課後等デイサービス評価表(令和2年1月実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適当であるか	○			指導訓練室以外に身体を十分に動かせるスペースなど確保しています。
	②	職員配置や専門性は適切であるか	○			設置基準に準じた職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			2階に事業所があるが、昇降リフトを使用できるように配慮しています。
業務改善	④	事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			月一度の事業所会議のほかにケース会議を適宜設け、サービスの提供内容について確認、実行しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			前年度のアンケートより、今年度ご家族で参加できるレクリエーションを含んだ交流会の実施、長期休暇の受け入れ時間の変更を行いました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度より、ホームページと紙面での配布を行っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者評価は受けていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人の職員会議や県実施の研修などに参加している。内部研修は適宜行っているが、外部研修への参加が昨年に引き続きの課題としてあります。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成している	○			半年に一度、事業所で作成したアセスメントシートを利用し、現在の様子と課題分析をし、個別支援計画に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	現在、標準されたアセスメントシートは使用していません。今後の課題としております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数で立案、確認、実施をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用する児童に合わせて、活動の内容を検討実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後の過ごし方と、休業日の活動内容は変化している。個別課題も確認し実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			活動は設定していても、状況に応じて内容は変化させています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			放課後時間の時には14時、学校休業日については8時45分に打ち合わせの時間を設け確認をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日又は次の日に必ず、振り返りを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の記録の記述を行い、上司チェックを実施しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の必要性を判断しているか	○			半年に一度は保護者に対して面談を行い、現在の課題の方向性などを確認しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援しているか	○			ガイドラインを各支援員に配布し周知としています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	○			現在会議には支援員より情報を得て、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	○			年間、月間計画や行事予定など学校へ連絡をし情報を得ている。トラブルなど本人にとってマイナス面に関しては電話やメモで連絡するようにして本人にわからないに配慮し情報を得ている。日常の情報に関しては連携会議や授業参観、連絡帳の共有などで行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在該当児がいないが、必要な場合には連絡体制をとる用意があります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新一年生に関しては、保護者の許可を得て保育園や児童発達支援センターへ見学などを行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当児童がいません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターとの連携を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	行っていないが、地域学童クラブが利用している公園などには遊びに行き、自然な形で交流を行える場面を設定しています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			豊築自立支援協議会のこども部会に所属しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的な面談だけでなく、電話や送迎時など連絡報告する機会としています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングの観点からの助言を行っています。
保護者への説明責任	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約児や変更時に文書などにより説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時以外にも適宜行っています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会は存在しないが、保護者が参加できる交流会を実施、連携が出来るように試みています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に体制については説明し、苦情があった場合についての対応手順があります。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所独自の会報はない。法人の広報はある。ホームページでの活動内容の発信を今年度から行っています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			研修を行い、意識を高められるようにしています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉だけの支援ではなく、文字や写真、具体物を活用して子供たちの意思を尋ねたりしています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所単独の行事は行っていないが、法人の福祉文化祭に当事業所も参画し地域住民の方々が参加できるよう行っています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応、防犯マニュアルに関してはホームページにて閲覧可能としています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月一度は避難訓練を行っている。学校の長期休業中にも行い年に一度は全員が経験できる配慮をしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止の研修を毎年実施、権利擁護や意思決定の支援についての研修もおこなっています。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に解決し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在個別支援計画について記載し、身体拘束を行っている児童はいない。必要な児童がいる場合には、どのような手順で行っていくのか支援員で確認しています。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		薬の飲み合わせに関し摂取してはいけない食べ物がある児童、アレルギーのある児童に関しては保護者と連携して内容を確認、職員で周知しています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		報告書を作成し、定期的に数年分のヒヤリハットを見直し、日々の活動に生かすようにしています。